

職員の意見を踏まえて、効率的に仕事ができる執務環境を創出し、市民サービスの向上につなげることを目的に令和7年10月に設置した標記タスクフォースから両副市長及び関係部局課長に以下のとおり政策提言を実施しました。

## 1 実施概況

- (1) 日時 : 令和8年5月29日(金) 午後1時30分から3時30分まで
- (2) 会場 : 大会議室 \*オンライン併用
- (3) 出席者 :
  - ア 発表者 : 快適な執務環境創出TF所属職員 18名
  - イ 評価者 : 両副市長以下、関係部局課長 計13名
  - ウ 聴講者 : 管理職 計84名 (会場 : 50名、オンライン34名)



# 快適な執務環境タスクフォースからの政策提言について

## 2 提言の概要

### (1) 各班の提言要旨

班	要旨
1	職員の才能を「開花」させ、時代の変化に追従し <b>自律的に進化し続ける仕組み・制度</b> を提案
2	アンケート結果に基づき、誰が欠けてもスムーズに回り、 <b>他部署と協力し合える関係構築</b> を提案
3	離職防止を強く意識し、 <b>身体的・精神的な「疲れにくさ」</b> を制度や、UDやABWといった物理面で提案

### (2) 共通するポイント

キーワード	要旨
時間の柔軟性	3班全てが「フレックスタイム制の導入」を提案しており、若手職員にとって <b>「時間の柔軟性」</b> が重要な要素であることがうかがえます。
組織の壁	「庁内スキルシェア（1班）」「シンカDB（2班）」「越境チャレンジ（3班）」と、手法は異なりますが、いずれも <b>「縦割りの打破」</b> を強く求めています。
空間の質	単に庁舎を新しくするだけでなく、 <b>「交流」と「集中」のメリハリ</b> 、そして <b>「誰にとっても使いやすい（UD）」空間づくり</b> の必要性を指摘しています。

## 3 今後の進め方

提言で示されたありがたい姿・目指す姿の実現に向け、関係課で**新たにタスクフォースを設置し**、新庁舎建設を待つことなく、**可及的速やかに実現に向けた取組みに着手します。**

